

### 1229 $^{67}\text{Ga}$ -citrate の diffuse pulmonary concentration について

浅野 章, 広瀬仁一郎, 西野茂夫, 上北洋一,  
早坂和正, 菊池雄三, 三橋英夫, 天羽一夫  
(旭医大, 放)

我々の教室で, 昭和54年4月より昭和56年4月までの2年間に実施した gallium scan は44/例あり, そのうち diffuse pulmonary concentration を示したものは39例(7.9%)であった。

diffuse pulmonary concentration の grading は Gupta らの grading に従い, 正常の肝より uptake は低いが, 心臓が陰性像として描出され, 肺野の輪郭が明瞭なものを Grade I, 正常の肝と同等の uptake のものを grade II, 肝よりも uptake の高いものを grade III とした。

その結果, 陽性の36例中 grade I が26例(72%), grade II が7例(19%), grade III が3例(9%)であった。

2度以上の検査で, 著しい uptake の改善を認めたものが3例あり, それらは pneumocystis carinii, drug induced pneumonitis, hypersensitive pneumonitis の3例であった。

diffuse pulmonary concentration の原因疾患につき検討し, 文献的考察を加えた。

### 1231 肺癌の糖代謝と加療

鈴木恒雄, 東海芳道, 山内則子, 飯尾正明(国療中野) 今村恵子(聖マリアンナ医大 放)

前回第20回核医学会総会にてサイクロトロンによって作り出された,  $^{14}\text{C}$  を利用し,  $^{14}\text{C}$  でラベルした  $^{14}\text{C}$ -グルコースを製造し, 肺癌患者に経口投与し, 肺癌細胞によく取り込まれ, 非肺癌患者には取り込まれにくいことより, 肺癌と非肺癌の鑑別診断に有用であった。すなわち肺癌32例のうち28例は癌細胞に  $^{14}\text{C}$ -グルコースが集積し, アドレミアイシン動注, プレオマイシン局注, 放射線治療の2例, 計4例は糖代謝が停止し, 非肺癌疾患21例中1例の teratoma は癌性代謝型を示した。リニアック照射は約2500 rad で糖代謝の低下を確認でき, 本法は癌細胞のエネルギー代謝の観察に適していた。今回は肺癌の加療の影響について検討し, 報告する。

### 1230 胸腺疾患の胸腺シンチグラムと臨床病理に関する研究

杠 英樹, 志田 寛, 森本雅己, 井之川孝一,  
池田 裕, 津金次郎(信大, 第2外科)  
中西文子(信大, 放) 丸山雄造(信大, 病理)

胸腺疾患に  $^{75}\text{Se}$ ,  $^{67}\text{Ga}$  および  $^{201}\text{Tl}$  による胸腺シンチを行いその所見と手術および組織所見を検討した。胸腺腫13例に  $^{75}\text{Se}$  シンチ, そのうち11例に  $^{67}\text{Ga}$  シンチ, さらに4例に  $^{201}\text{Tl}$  シンチを行った。胸腺腫を伴わない重症筋無力症では9例に  $^{75}\text{Se}$  シンチ, そのうち4例に  $^{67}\text{Ga}$  シンチ, さらに1例に  $^{201}\text{Tl}$  シンチを行った。

胸腺腫では  $^{75}\text{Se}$  で13例中10例に集積像が認められ, 2例に軽度集積像が認められた。  $^{67}\text{Ga}$  では11例中7例に集積像が認められ, 2例に軽度集積像が認められた。  $^{201}\text{Tl}$  では4例全例に集積像が認められた。手術所見では胸腺腫13例中播種または Implantation を認めたもの4例, 隣接臓器への浸潤4例, 腫瘍細胞の被膜内浸潤が認められたもの3例であった。組織型では混合型5例, リンパ球型3例, 上皮型3例および胸腺ホジキン病2例であった。重症筋無力症9例では  $^{75}\text{Se}$  で2例に軽度集積像が認められ,  $^{67}\text{Ga}$  では4例中3例に軽度集積像が認められた。1)  $^{201}\text{Tl}$  シンチは胸腺腫に集積像を示した。2)  $^{67}\text{Ga}$  シンチはリンパ球型でより強く集積像を示した。3)  $^{75}\text{Se}$ ,  $^{67}\text{Ga}$  シンチは Implantation に強く集積像を示した。

### 1232 卵巣癌は $^{201}\text{Tl}$ -Chloride で描画できるか。

戸張千年, 設楽厚司, 黒沢洋(東邦大, 放)  
渡辺肇, 室井克夫, 大村剛, 野口昭二(東邦大, 産婦)

$^{201}\text{Tl}$ -Chloride は, 子宮良性腫瘍(子宮筋腫, 腺筋症)および子宮体部癌のⅡ期以降の症例に陽性像が得られることは周知の通りである。一方, 婦人科領域の悪性腫瘍としては, 卵巣癌の体外診断ができるか否かの問題が残る。

今回, われわれは,  $^{201}\text{Tl}$ -Cl 2mCi を静注し, 通常のごとく20分後に画像を得る方法で, 卵巣腫瘍について検討したので報告する。

その結果, 卵巣嚢腫を中心とした良性腫瘍には明らかに, 腫瘍内および辺縁ともに集積は認められなかった。一方, 悪性腫瘍例も嚢胞状を呈する例の集積は不明であったが, 超音波断層とCT上充実性でCE陽性が認められる症例では, 集積が認められるようであった。

未だ症例は少ないが,  $^{201}\text{Tl}$ -Cl は血流の多い充実性の卵巣癌には応用可能と思われた。